

ミャンマー難民保護のための アジアにおけるネットワーク連携の可能性

講師：佐藤 安信氏



法学博士（ロンドン大学）

早稲田大学アジア太平洋研究センター 特別センター員
サステナ法律事務所 所長・弁護士、日越大学 客員教授

日時：2024年12月1日（日）10:00-11:30

講演内容：2018年の難民に関する国連グローバルコンパクト（GCR）では、難民支援のための全社会アプローチによるグローバルアカデミックネットワークが呼びかけられている。世界では紛争の拡大による難民の増加に拍車がかかる中、アジアでもミャンマーからの難民らの増加は止まるところを知らない。

この流れを止め、悪循環を好循環に転換していくためには、難民の保護だけでなく、そのエンパワーメントのための、教育と雇用の機会を提供し、社会の分断を乗り越えた社会統合が不可欠である。そのための民官産学による補完的な連携が重要である。そのための課題を特定し、その解決方法を模索し、誰も取り残されない持続可能な社会構築の可能性を展望したい。

とりわけミャンマーでの民主化を巡る政治動乱と人道危機は、世界で多発する地域紛争のグローバル大戦へのエスカレーションのきっかけとなることも危惧される。これを阻止するためにもミャンマー難民などの「人間の安全保障」のためのアジアにおける教育ネットワークを早急に作り、相互理解と相互扶助による共生の道を探る必要もある。そのための試みを共有いただき、今後の支援活動について、大学のサービス・ラーニングとの連携の可能性について参加者とともに探る。

参加費：会員（無料）、一般（1,000円）

参加方法：ZOOM（参加申し込みを頂いた方には前日までにURLをお送りします）

主催：日本サービス・ラーニングネットワーク（JSLN）国際連携部会

申し込み方法：下記、Google formからお申し込みください。 QRコード

<https://x.gd/5blEz>

締切日2024年11月28日（木）

